

# 出 会 い の 森

玉津小学校便り No.11

(令和3年2月3日発行)

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

「気づき、考え、実践！」 ～6年生自主活動学級閉講式より～

校長 坂元 裕則

寒さの中にも春の足音が聞こえてくる今日この頃ですが、保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、子どもたちへの心身の健康維持と励ましを続けていただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、3学期もひと月が過ぎ、子どもたちはまだまだ終息しないコロナ禍において、毎日明るく元気に学校生活を過ごすことができています。

さて、1月22日（金）に6年生児童が地域総合センターで行われた自主活動学級閉講式に参加しました。この自主活動学級は毎年、6年生が年間を通して実施していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年より遅い6月からのスタートでした。開講式と閉講式を含め計9回の取り組みを重ねる中で、子どもたちは多くの方々と出会い、「気づき、考え、実践」することの大切さを着実に学ぶことができたようです。その成果は、この日の閉講式での子どもたちによる発表内容から十分感じ取ることができました。

発表内容の一部を紹介します。



『国際理解交流』では、韓国のチョンマルソンさんから戦争の悲惨さと平和について学び、食文化や民族衣装などの紹介などを通してより理解を深めることができました。特に“平和であることに感謝し、二度と戦争を起こしてはならない”ことを心に刻みました。『仲間づくり』では、有田雅恵さん、橋本麻美さんと交流し、仲間とより良い関係づくりを行うことを学びました。両名の方から何度も言われた“目、耳、心（ハート）は聴く合図”という言葉が深く印象に残っています。『大切ないのち』では、齋藤智孝さんより“いのちの尊さと、いのち誕生の不思議”について、助産師の立場からお話をいただきました。“生まれることって、キセキだよ”という齋藤さんの温かく熱いメッセージは“いのちの大切さ”をあらためて実感し、“お母さんとお父さんへの感謝の思いや自分を大切にしていこう”が明確になりました。これからも夢を持って悔いのない人生を過ごしていきたいです。『人権コンサート』では、坂井孝之さん、小百合さんから目の不自由な方への正しい対応を学び、オカリナなど、さまざまな笛の演奏を聴き、美しい音色に心を動かされました。目の不自由な方を見かけたら、“勇気を持って、こちらから声をかけ、助けてあげたい”という思いが強くなりました。『手話教室』では、曲に合わせて手話をする yokko さんから“耳が聴こえなくても音楽を楽しむ”ことを学び、数字やあいさつなどの手話体験を通して、“耳の不自由な方に出会ったら、手話で話しかけてみたい”と思いました。また、「えがお」のみなさんからは「聴導犬」を実際に連れていただき、仕事ぶりを学びました。さまざまな音を聞き分け、飼い主との信頼関係のすごさに驚きました。



子どもたちがこの自主活動学級で学んだ「気づき、考え、実践」がこれからも活かされ続け、自分も周りの人々も幸せにする人生を歩んでほしいと願っています。

講師の先生方、地域総合センターの皆さま、保護者の皆さま、地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

## 学校診断アンケート結果から 【回収率 91.6% (164人/179人)】

12月に学校診断アンケートを実施いたしました。コロナウィルの影響により例年のようには教育活動が進められないことが多く、判断に迷いながら回答いただいたことと思います。保護者の皆様、学校評議員の皆様、ご協力誠にありがとうございました。

【平均点は、よくあてはまる：5点、あてはまる：4点、あまりあてはまらない：2点、あてはまらない：1点、として計算】

No	診断内容	R2	R1	No	診断内容	R2	R1
1	子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている。	4.46	4.37	12	学校は、命の大切さやいじめや差別を許さない人権を尊重する態度を育てようとしている。	4.22	4.24
2	子どもは、進んであいさつができています。	3.63	3.79	13	学校は、道徳規範等、社会ルールを守る態度を育てようとしている。	4.22	4.23
3	子どもは、やさしい言葉づかいができています。	3.67	3.44	14	学校は、子どものことをよく理解し、適切に指導している。	4.24	4.02
4	子どもは、学習や行事を通し意欲的に学ぶ力を伸ばしている。	4.2	4.23	15	学校は、子どもの安全が守られるよう努力している。	4.32	4.30
5	子どもは、学習や行事を通し、異学年の友だちとも仲良く活動することを学んでいる。	※	4.52	16	学校は、子どものことについて家庭に連絡したり、相談に応じたりしている。	4.28	4.20
6	子どもは学習や行事を通し、自分に自信を持ち、主体的に活動できる力を身につけている。	4.17	4.13	17	学校や子どもの様子を懇談会、学校便り、学年・学級通信、ホームページ等でよく知ることができる。	4.28	4.30
7	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	4.06	4.11	18	通知表は、子どもの生活や学習状況を分かりやすく伝えるよう工夫されている。	4.01	4.07
8	学校は、玉津の特色を生かした教育を展開している。	4.33	4.51	19	学校は、保護者、地域の人と話をする機会や授業参観を適切に設けている。	4.29	4.46
9	学校は、一人ひとりの子どもを大切にし、子どもの個性を尊重している。	4.13	4.09	20	保護者は、PTA活動や授業参観に積極的に参加している。	4.22	4.04
10	学校は、子どもに分かりやすく楽しい授業を工夫し、子どもたちの学力向上に努めている。	4.3	4.21	21	学校は、子どもたちの豊かな心を育む読書活動(読み聞かせ、朝の読書タイムなど)を推進している。	4.17	4.35
11	学校は、リレー、水泳、業間マラソンなどに力を入れ子どもたちの体力作りに努めている。	※	4.64	22	学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応しながら教育活動を進めている。	4.34	

(※は、今年度、評価の依頼を取りやめた項目)

項目1「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」は、平均点が昨年度を少し上回りました。1月号に掲載しました児童アンケートの結果でも「学校が楽しい」の回答が昨年度より高まっています。子どもたちが「学校が楽しい」と回答した理由で多かったのは、「学習や遊びが楽しい」「友だちがいるから、友だちと一緒にできるから」でした。臨時休校で長く家にこもる生活を余儀なくされ、学校再開後、友だちと再開し、毎日を共に過ごすことに喜びや楽しみを感じてきたのだと思われます。また、ICTの活用をはじめとする授業の工夫、「ほめほめ週間」の取組などにより「自分には、よいところがある」と回答する子どもが増えてきていることなども関係しているものと捉えています。「あまり思わない」「思わない」の回答にも着目し、「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」に向け、取り組みを続けていきたいと考えています。

項目2の「あいさつ」については、児童アンケートでは「昨年よりできている」と捉えている結果でしたが、保護者集計からは「昨年度よりできていない」という結果で、反対になりました。また、項目21の「読書活動」は、毎学期の「生活見直し週間」の取組において、ご家庭から「定着が難しい」というコメントをいただくことが多く、引き続きの課題と捉えています。また、今年度は本校独自の取組の多くを中止し、項目8の「玉津の特色を生かした教育の展開」についても、次年度以降も課題です。

皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、来年度の教育活動に生かしていけるよう、現在校内で協議を重ねているところです。今後とも、ご理解ご支援をよろしくお願いいたします。